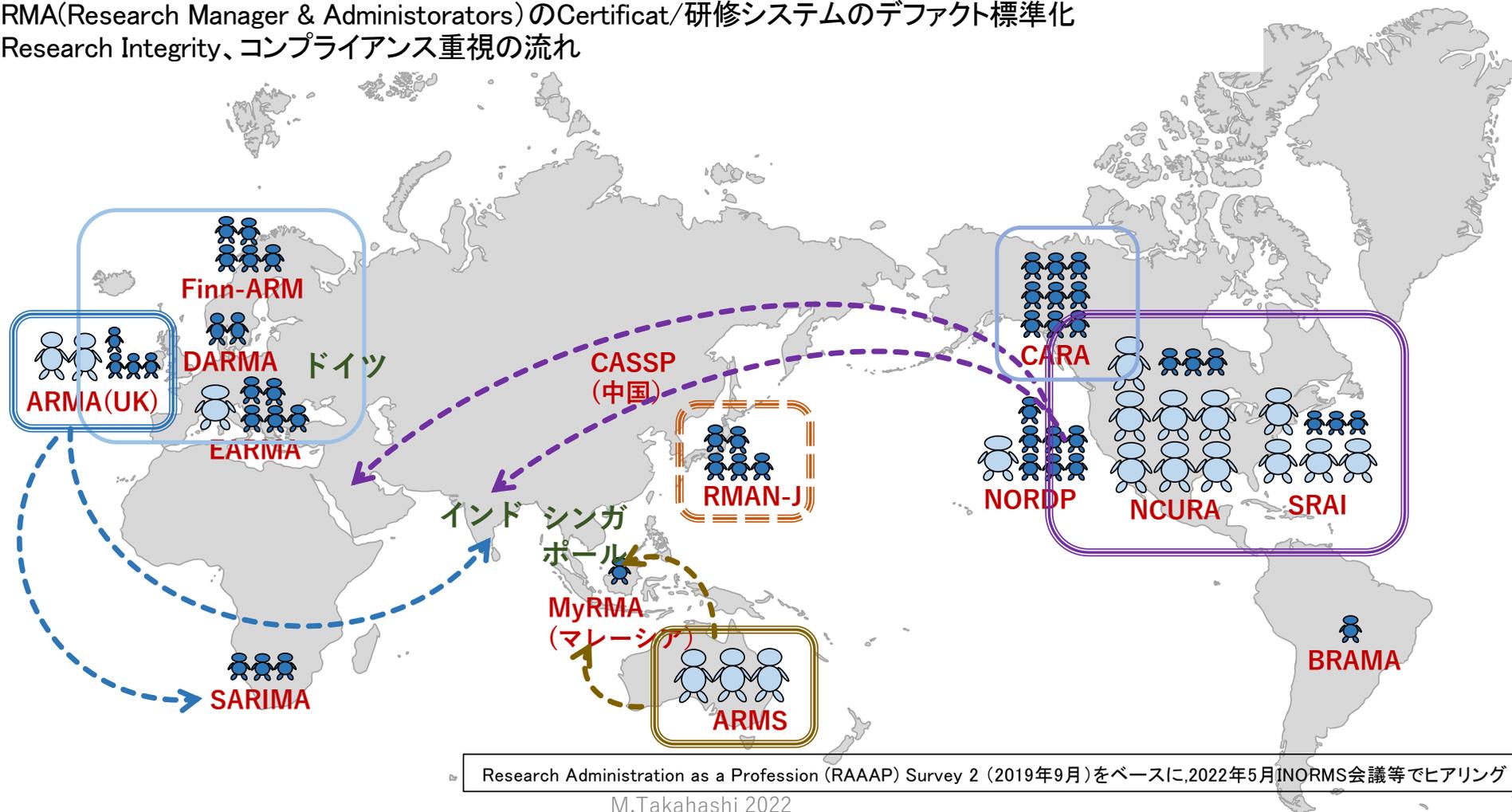
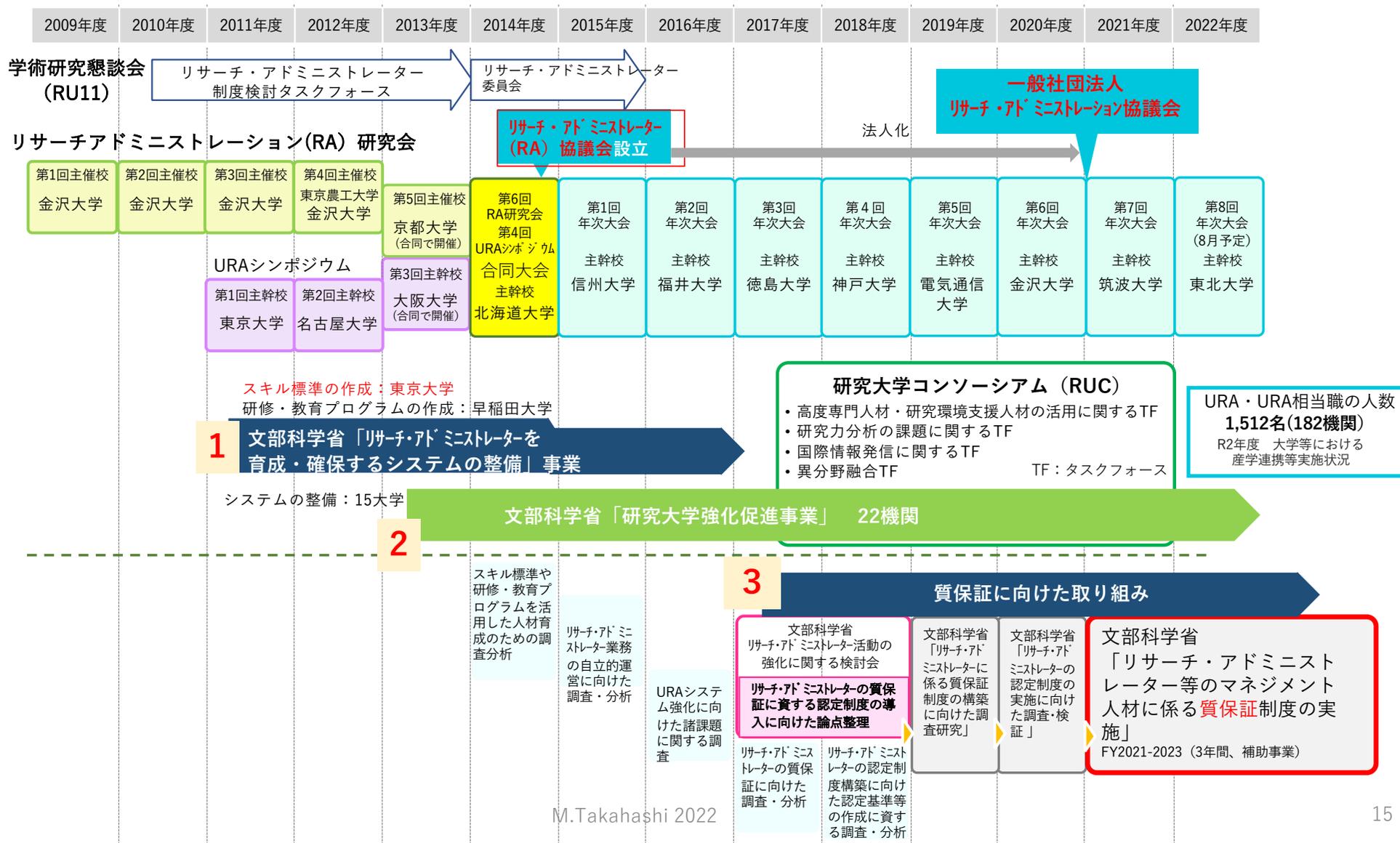


世界の主要URA団体における質保証／認定制度と直近の動き

- 1 RMA(Research Manager & Administrator)のCertificat/研修システムのデファクト標準化
- 2 Research Integrity、コンプライアンス重視の流れ



我が国におけるURA導入の経緯(時系列で整理してみると)； ボトムアップとトップダウンのコンビネーション



RA協議会の概要と参画状況

(一社)リサーチ・アドミニストレーション協議会(RA協議会)

英語名: **R**esearch **M**anager and **A**dministrator **N**etwork **J**apan (RMAN-J)

2015.3.11 旧RA協議会設立
2021.4.1. 一般社団法人化

リサーチ・アドミニストレーションに携わる人材の育成・能力向上, 課題の共有・解決及び組織・体制・制度の検討等についての情報交換を通じ, 我が国の大学等の研究力強化に貢献し, 学術及び科学技術の振興並びにイノベーションに寄与します。

会員状況(2022.3.1現在)

◆ 組織会員(年会費 20万円) 31機関

- 金沢大学
- 福井大学
- 信州大学
- 京都大学
- 大阪大学
- 神戸大学
- 徳島大学
- 長崎大学
- 奈良先端科学技術大学院大学
- 東京都立大学
- 関西大学
- 沖縄科学技術大学院大学
- 情報・システム研究機構
- 熊本大学
- 筑波大学
- 横浜国立大学
- 電気通信大学
- 北陸先端科学技術大学院大学
- 理化学研究所
- 広島大学
- 東北大学
- 量子科学技術研究開発機構
- 鹿児島大学
- 高エネルギー加速器研究機構
- 岡山大学
- 新潟大学
- 東京医科歯科大学
- 日本原子力研究開発機構
- 滋賀医科大学
- 大阪工業大学(3月末で退会)
- 群馬大学

- ◆ 組織会員内個人会員 417名
 - ◆ 組織会員外個人会員 223名
 - ◆ 特別会員 2名
 - ◆ 賛助会員 3団体
- 642名

賛助会員

Clarivate™



Panasonic

RA協議会の活動概要

- ◆ 第1回年次大会(信州大学) 2015年9月1日・2日 参加者数:419名、所属機関数:118機関
「リサーチ・アドミニストレーターのレベルアップから組織の研究力強化へ」
- ◆ 第2回年次大会(福井大学) 2016年9月1日・2日 参加者数:514名、所属機関数:137機関
「URAシステムの高度化による科学技術イノベーションへの貢献」
- ◆ 第3回年次大会(徳島大学) 2017年8月29日・30日 参加者数:559名、所属機関数:144機関
「大学の新たな機能としてのURA」
- ◆ 第4回年次大会(神戸大学) 2018年9月19日・20日 参加者数:696名、所属機関数:174機関
「共創するURA ～学術の発展と価値の創出～」
- ◆ 第5回年次大会(電気通信大学) 2019年9月3日・4日 参加者数:686名、所属機関数:185機関
「URAシステムの定着に向けて ～構想、越境、創発～」
- ◆ 第6回年次大会(金沢大学・web) 2020年9月16日・17日 参加者数:573名、所属機関数:135機関
「躍動するURAが組織を変革する ～連携、協働、そして価値連鎖へ～」
- ◆ 第7回年次大会(筑波大学・web) 2021年9月14日・15日 参加者数:620名、所属機関数:141機関
「組織の研究力強化はURAの活動で決まる！～情報収集・プロジェクト形成・外部資金獲得～」
- ◆ 第8回年次大会(東北大学) 2022年8月30日・31日
「リサーチ・アドミニストレーション機能の拡充による研究力強化への取り組み」

運営の課題:

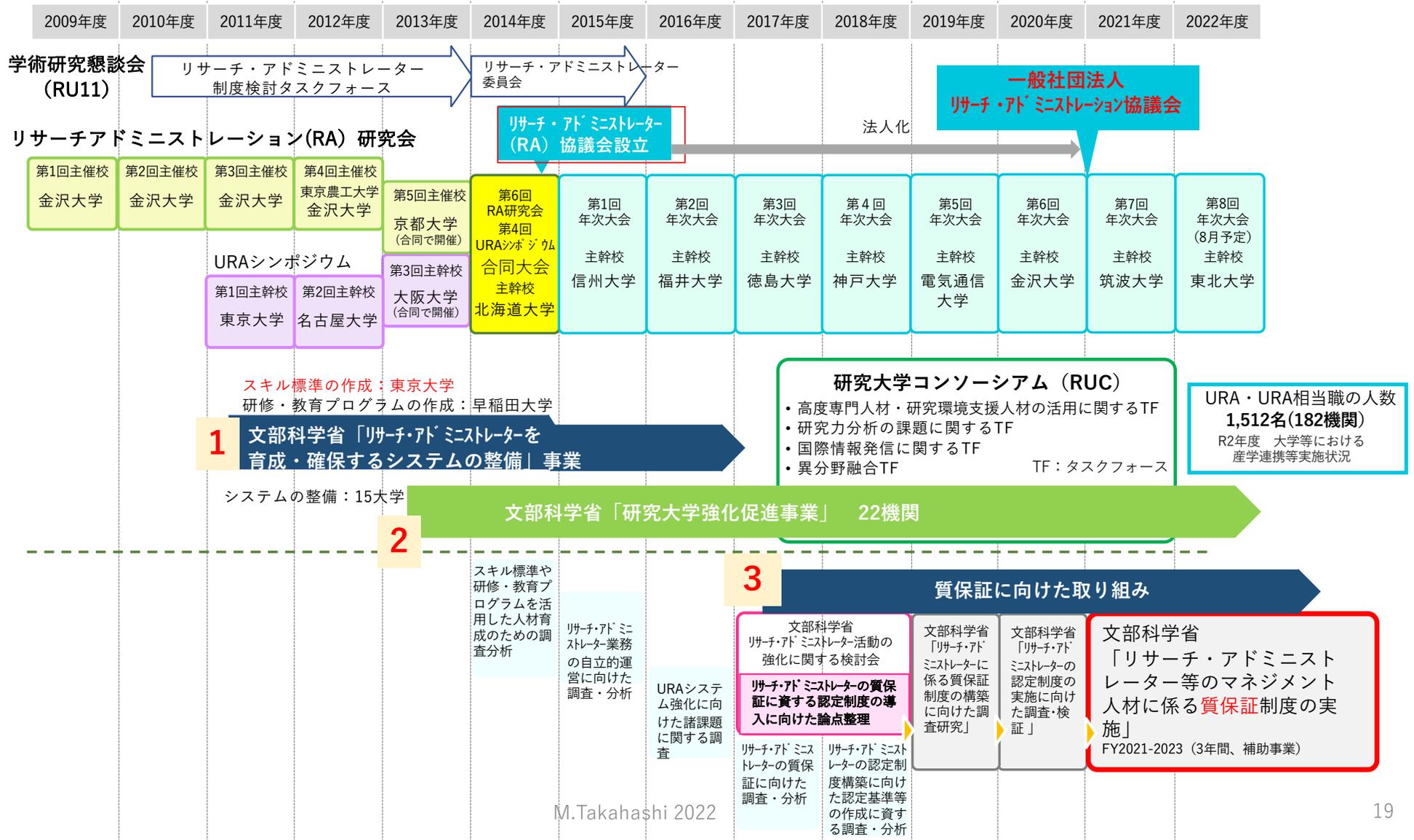
・実務者人口の8割は任期制雇用の職能団体で、運営を担うボランティアな個人の実績にならないことも多い。

・コミュニティへの貢献より、目先の学内の業務を優先する管理者側の本音。

→ボランティアベースの活動基盤の限界。

INORMS 2021 Congress を広島で開催 2021年5月24日～27日、アジア初、世界49カ国、500人超の参加
“Promoting Diversity in Research and Research Management Collaborations: More Trans-national, More Trans-disciplinary, More Trans-sectoral” 後援:文部科学省 協賛:UNITT, 研究・イノベーション学会 他

我が国におけるURA導入の経緯(時系列で整理してみると)



検討に参画している団体

これまでの事業は、以下のURA関係団体の協力を得て実施

R1,R2年度事業

受託機関



協力団体



RA協議会
The Research Manager and Administrator Network Japan



学術研究懇談会

(R1,R2年度事業仕様書記載順)

UNITT
大学技術移転協議会

多能工型研究支援人材育成
コンソーシアム



医療系産学連携ネットワーク
協議会



国立研究開発法人
科学技術振興機構
Japan Science and Technology Agency

R3年度事業 (R3~R5)

主幹機関：一般社団法人リサーチ・アドミニストレーション協議会 (RA協議会)

協働機関：医療系産学連携ネットワーク協議会 (medU-net)

一般社団法人大学技術移転協議会 (UNITT)

多能工型研究支援人材育成コンソーシアム

国立大学法人金沢大学

協力：研究大学コンソーシアム (RUC) , 学術研究懇談会 (RU11) ,
科学技術振興機構 (JST)

—社) スキル認定機構からの提供資料